



1 堤防

河川の氾濫を防ぐために、土砂等で造られた堤のことで、

2 遊水地

洪水の一部を一時的に貯めて下流の洪水の水位を低下させるために利用される土地のことで、

3 ダム

川の流れをせき止めて、下流に流れてくる水の量を調節して洪水を防いだり、農業用や工業用、水力発電用、水道用に使つたの水を貯めます。

4 内水対策、排水機場

洪水のとき、本川（水が流れる量や川の幅、長さなどが一番大きく、その水系を代表する幹となる河川）の水が支川（本川に合流する河川）へ逆流しないよう水門を閉じます。すると支川の水は行き場がなくなり堤内地に貯まってしまいます。この貯まった水を「内水」といいます。その内水を強制的にポンプで本川へ流す施設が排水機場です。排水機場は内水が多く発生する場所に造られています。

5 レーダー雨量計

洪水時の流量や、最も水位が高くなる時期を予測するために、電波を使って雨や雪を観測しています。

6 放流警報機

洪水が起こりそうな時、ダムでは放流量が決定されます。放流警報機は、この放流によって川の水位が上昇することを、前もってサイレンや電光表示盤でダムの下流に住む人たちに知らせます。

7 水辺プラザ

みなさんが川に親しみ、川に学ぶ場として、また、ボートやカヌーなどを使いその地域の人と上流下流域の人との交流の場となるように、河川敷などを安全で使いやすく整備した水辺です。

8 砂防えん堤

山あいにある川の流れは土や石を押し流す力が強いので、山のすぐ下の家や田畑を土砂災害から守るためにコンクリートなどを使って流れをせきとめる施設が造られています。

9 火山災害の対策

火山の様子を知るためにカメラなどの機械を設置して、関係する機関にその映像を提供したり、火山が噴火した後に起こる火山泥流や土石流を防ぐ砂防えん堤などを造ります。

10 ハザードマップ・防災マップ

ハザードマップは過去の浸水実績を考慮し、浸水予想範囲、避難場所とその経路、緊急時の連絡先などを書いた地図です。防災マップは火山が噴火した場合を予想して、その時の避難場所の位置や、火山灰や溶岩、土石流がどのあたりまで届くかを書いた地図です。

11 バイパス工事・道路の幅を拡げる工事

町が大きくなると、人や車が集まってきて道が混雑できます。その混雑をやわらげるため、迂回する新しい道路（バイパス）や、道路の幅を拡げ車線を増やす工事を行っています。

12 高規格道路

遠いまちとまちが早く行き来できるための道路で、高速道路などの自動車専用道路です。

13 道の駅

電車を利用する人に駅があるように、道路を利用する人たちの休けい場所として「道の駅」があり、道路に関するさまざまな情報も備えています。また、地域の人たちとの交流の場、その地域の文化や歴史にふれる場、特産品を紹介する場としても利用されています。

14 道路標識・区画線

道路標識は、道路を安全でスムーズに利用できるようにするために、利用する人に対して、案内・警戒・規制や指示を文字や記号によって伝えるものです。区画線は、道路の構造を保ったり、交通の安全と円滑を図るために、道路に表示した直線や文字です。

15 道路の維持・修繕

道路を安全に利用できるように、道路掃除、除草、植栽剪定、路面補修などを行っています。

16 情報ボックス

人や車の通行だけが道路の役目ではありません。道路の地下に、大量の情報をより早く送れる光ファイバーを入れた「情報の移動空間（情報ボックス）」を造ることで、道路は高度情報化社会にも役立っています。

17 河川パトロール・道路パトロール

洪水の時に堤防がその役目をはたせるように、道路を通る人や車が安全に通行できるように、堤防や道路を点検しています。また、みんなの川や道路がゴミなどで汚れたりしていないかを点検することも、パトロールの大事な仕事です。

18 除雪作業

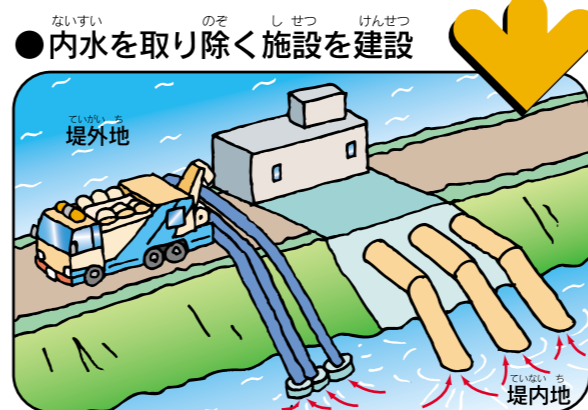
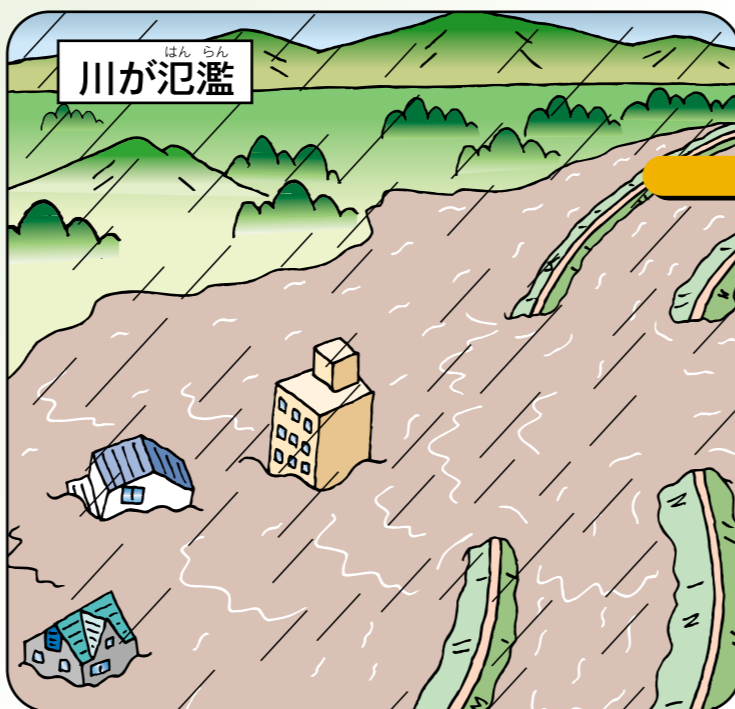
雪の降る量によっては昼でも夜でも、安全な通行ができるように除雪車などで作業しています。

19 ノーマライゼーション

みなさんがいろいろな施設を利用される時に、路面の段差などで不便を感じたことはありませんか。「ノーマライゼーション」とは、一部の人だけではなく、施設を利用したいだれでもが平等に使いやすいようにすることです。例えば、歩道を拡げる、段差をなくす、点字ブロックや手すりをつける、階段をエレベーターにするなどがあります。

安全な川にするには...

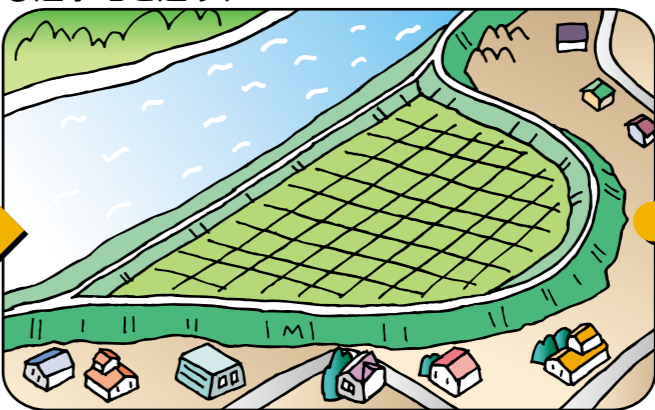
洪水を防ぐには



●堤防を造り、



●遊水地を造り、



●川から水があふれないように整備して人や家を守る



●洪水の時には水を貯めて人や家を守る

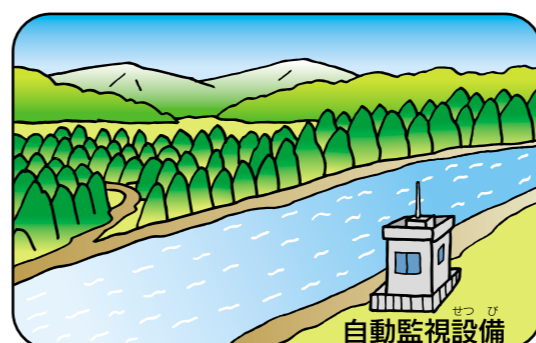


土砂の流出を防ぐには

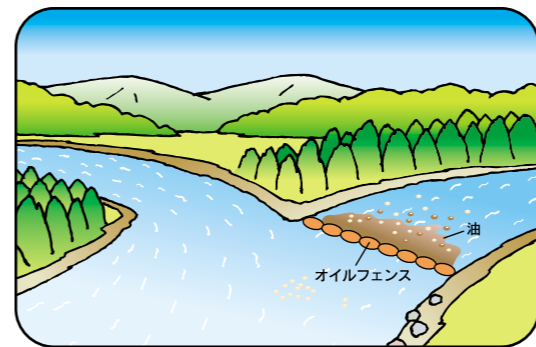


環境を守るために...

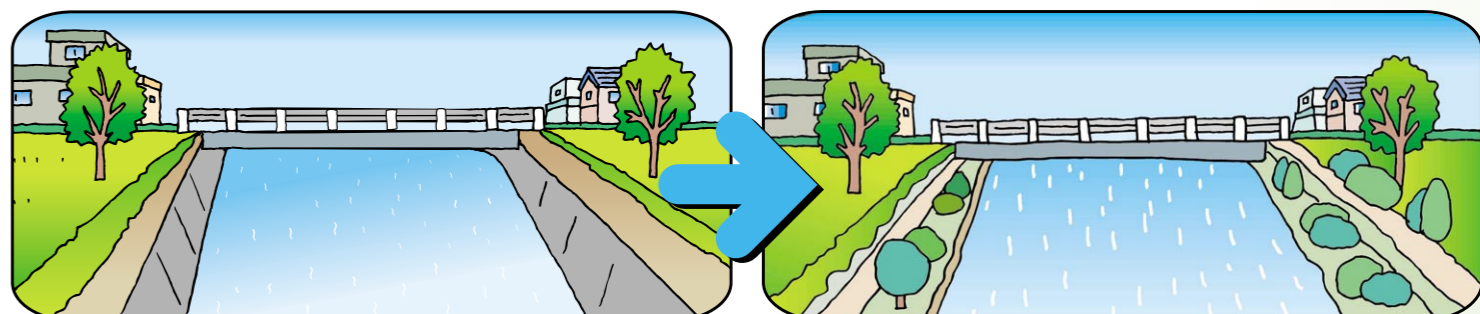
●水質を監視する



●油が流れた場合、流下を防止する

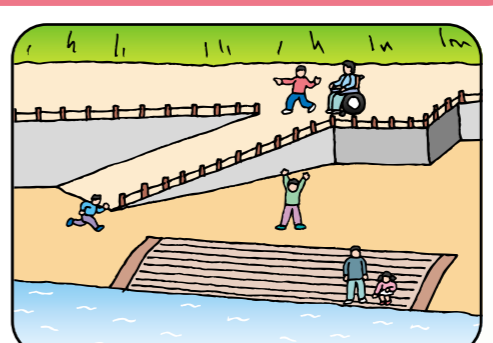


うるおいとやすらぎを...



●自然にやさしい水辺空間に

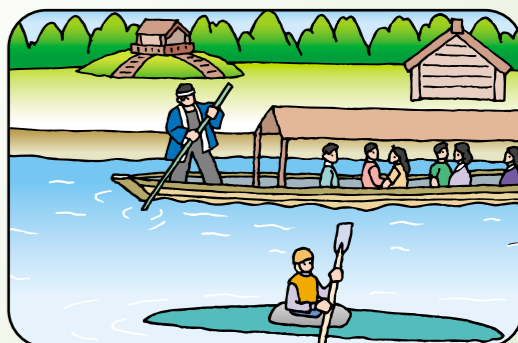
ノーマライゼーションの取り組み



●傾斜のゆるい乗入口



●サイクリングロード



●水辺プラザ (水と親しむ)

雨の降る量や川を流れる水の量を調べて、どうすれば洪水による被害を防ぐことができるかを工夫しています。また、洪水だけではなく、川の水質や動植物を調べて、うるおいとやすらぎが感じられる水辺になるように工夫しています。